

2024年1月17日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 中町地区まちづくり協議会

代表者・役職名 氏名 会長 橋本 圭司

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

『和の薫る街・中町』プロジェクト

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

創設の経緯)中央線陸橋の架け替え工事で出た石畳を再利用して、中町花街のアスファルトの路地を石畳の洒落た路地にできないかという提案がありました。誰かがまとめ役とならなければ、住民の声を聞き、集約することはできません。地域住民のいろいろな声を聞き、思いを実現するために皆が考え、参加できるまちづくりを目指し、この団体を設立しようと考えました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

2010年から活動を継続し、ここ数年でハード面での形が現れてきています。産学官民一体のまちづくりが進行してきました。行政念願の地域休憩処「まちなか休憩処・八王子宿」が2020年に当地域に完成し、2022年伝統文化伝承・未来創造プロジェクトとして「桑都テラス」がオープンいたしました。来街者が増える中で、もっと魅力のある『和の薫る街・中町』を創っていくことを目的といたします。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. アート(黒塚キャンパス)

当会が地域内の賛同いただける店舗シャッターや黒塚、壁などにアートを施します。若者が入って来れる街にするためにも、学生の若い意見を取り入れ、実地を調査しながら黒塚の街に映えるアートを施していきます。

2. 景観の整備

まち歩きを実施しながら、木質化など和の薫る街に一步近づけていきます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT.実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME.事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT.事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

イベント時に黒塚をキャンパスに見立て、風鈴や扇子のアートを施すことで、写真や映像がSNS等で拡散。多くの来街者が訪れました。以前は、夜の街であったこの地域が、昼間でも散策に来られる方の増加につながり、地域の活性化を図ることができてきております。また、景観を整えることにより、地域の和の魅力を発信する効果が期待できます。『和の薫る街・中町』という目標に一步近づいていくと考えます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

当会は、収入源がほぼありません。今後は、収入を確保できるような施策が必要だと考えております。それには、オリジナルグッズの製作販売やイベント収入も検討していきます。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

